

会議の名称	第1回 あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会
開催日時	令和元年12月13日（金） 午後2時00分
開催場所	甚目寺庁舎 2階 第一会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員長の互選について 2 あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会副委員長の互選について 3 あま市の現状について 4 あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に関する実態調査について
会議資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員名簿 2 あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会要綱 3 令和元年度あま市現状分析（資料1） 4 調査の概要・スケジュール（資料2） 5 あま市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定に関する実態調査（資料3，資料4，資料5） 6 用語解説（資料6）
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	木全 克己 渡邊 剛 村上 千代子 杉本 吉之 山岸 千津子 小野 浩司 木下 晶代
欠席委員	牧村 順一 富田 悦充 下方 辰幸 梅屋 崇 覚前 淳 藤井 雅臣 井村 なを子 溝口 日出幸 立松 愛唯 服部 章平
事務局	高齢福祉課長 菱田 基久 主 幹 宮地 賢一 課長補佐 中井 基人、寺西 省吾 係 長 竹田 忠正、近藤 崇彰、伊藤 有為 健康推進課長 長谷川 真二 係 長 遠藤 順子 株式会社サバリサチセンター 杉田 純一、今井 康平

事務局	<p>本日は、ご多忙のところ、あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会にご出席賜り、ありがとうございます。</p> <p>ご案内の時間がまいりましたので、只今より始めさせていただきます。</p> <p>今回の策定委員会は『あま市審議会等の会議の公開に関する要綱』第3条に基づき公開で開催いたします。また、同要綱第7条に基づき、本日の策定委員会終了後、会議録を作成し、市の公式ウェブサイトへ会議録を掲載することとなっておりますのでご承知ください。</p> <p>それでは、市長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
市長	あいさつ
事務局	<p>ありがとうございました。なお、市長におきましては、他の公務がございますので、ここで退席とさせていただきます。</p> <p>まず初めに、資料の確認をおねがいします。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>続きまして、委員の皆様を紹介させていただきます。なお、委員の任期は、『あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会要綱』により、計画の策定が完了するまでとなっておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>(委員紹介)</p> <p>(欠席委員報告)</p> <p>(事務局紹介)</p>
事務局	<p>議題（1）あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員長の互選について</p> <p>続きまして、議題に入らせていただきますが、今回は初めての委員会でございますので、委員長が選出されるまで、事務局において議事進行をさせていただきますが、ご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしの声をいただきましたので、事務局で議事進行をさせていただきます。</p> <p>それでは、「議題（1）あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員長の互選について」を議題とします。委員長の選出については、委員会要綱第5条の規定により、委員の互選によることとなっておりますので、委員長の選出をお願いいたします。</p>

村上委員	<p>前回、計画の委員会で副委員長を務められましたあま市レクリエーション協会会長の木全克己委員を推薦したいと思いますが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p>異議なしということでございますので、委員長には、元日本福祉大学准教授であま市レクリエーション協会会長の木全克己委員に決定いたしました。木全委員は委員長席へご移動いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、木全委員から委員長就任のご挨拶をお願いいたします。</p>
木全委員長	<p>(あいさつ)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは委員長が決まりましたので、議事の進行を木全委員長にお願いいたします。</p>
木全委員長	<p>議題（２）あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会副委員長の互選について</p> <p>それでは、議事の進行をさせていただきます。では、「議題（２）あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会副委員長の互選について」を議題とします。</p> <p>副委員長の選出につきましても、先ほどと同様に委員の互選によることとなっておりますので、副委員長の選出をお願いいたします。</p>
杉本委員	<p>民生委員児童委員協議会代表の井村委員を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
木全委員長	<p>只今、杉本委員から、井村委員との発言がありました。井村委員は本日欠席ですので、井村委員に確認する必要があります。事務局に確認をお願いするということで、ご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
木全委員長	<p>異議なしの声がありましたので、事務局確認をお願いいたします。</p>
事務局	<p>わかりました。</p>
事務局	<p>委員長、本日、この委員会におきまして「あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の調査業務を委託しております株式会社サーベイリサーチセンターの杉田氏、今井氏を同席させていただきたいと思いますので委員</p>

木全委員長	<p>長の許可をお願いします。</p> <p>では、許可します。</p> <p>(サーベイリサーチセンター入室・着席)</p>
木全委員長	<p>議題(3) あま市の現状について</p> <p>それでは、次に、「議題(3) あま市の現状について」を議題とします。</p>
事務局	<p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p>
木全委員長	<p>議題(4) あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に関する実態調査について</p> <p>続いて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p>
木全委員長	<p>資料6もいただいておりますが、説明はよろしいですか。</p>
事務局	<p>資料6につきましては、各調査に同封いたしますのでよろしくお願ひします。</p>
木全委員長	<p>説明が終わりましたので、質疑に入ります。何かありますか。</p>
山岸委員	<p>資料4の問8-1は、2回に丸がついていますが、例としてついているのですか。</p>
事務局	<p>そうです。回答例としてつけています。</p>
山岸委員	<p>資料5は、ケアマネージャーを対象にしているが、よく事業所単位でアンケートがあるのですが、個人に対するものなのですか。</p>
事務局	<p>個人です。</p>
山岸委員	<p>事業所でまとめたの返送になるのか、個別で返送するのか、一人ひとりの思いがあり、事業所で言いたいことがあっても言えない人がいるため、プライバシーの関係で、記入内容を見られないようにするにはどうしたらよいですか。</p>

事務局	個別で返送していただいた方がいいと思います。
杉本委員	計4, 100人と対象者が多いことと設問数が多いことについて、第三者的に見ても大変だと思うが、これくらいの規模と量で行うべきなのか。
事務局	アンケートは最低400人対象と言われているが、あま市は、より多くの人から、細かなデータが欲しいため、計4, 100人の規模で行います。 前回の回収率ですが、一般高齢者には3, 000件発送し、回収数2, 036件ございまして、回収率としましては67.9%、要介護等(在宅)認定者には、1, 000件発送し、回収数が544件ありましたので、回収率としましては54.4%となっております。比較してわかりますように在宅認定者の回収率が一般高齢者より低くなっていますので、ケアマネージャーさんが訪問した際などにアンケートの告知をしていただくことで、回収率を上げていけたらと考えています。
杉本委員	サーベイリサーチセンターから見たあま市は一言でいうと遅れているのでしょうか。進んでいるのでしょうか。また、全国で介護の案件は何件行っていますか。
サーベイリサーチセンター	東海3県では、7自治体くらい受託をさせていただいております。その自治体ごとにそれぞれ特色があるので、ひとくくりには言えないのが実情です。
渡邊委員	高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の調査は、「我々の生活の実態」です。数字だけでなく、数字が物語っているものが何なのかを知りたいのです。特に回収率が良いということで、これはどういうことか、それだけ自分たちの明日の生活のことを考えている、真剣になっているということなのです。それを理解した上で、次の計画策定につながる内容にしなければならないと思います。素人で分からない部分があるから、事務的な報告ではなく、中身のある説明をして欲しいと思います。
木全委員長	数字だけでなく、地域住民に伝わる具体的な内容を考えて報告する場があると、もっとデータが有効になるのではないかと思います。
村上委員	介護に関わっている人は、良くやってくれていますが、数字だけを見て判断するというのは難しいと感じます。実際に携わっていないので、分からないこともあります。数字だけで判断できないこともあると思います。
事務局	資料3の問26, 27, 28で「はい」と答えただけでは認知機能が低

	<p>下しているということしか言えないですが、他の設問と組み合わせることでもっと違う見方ができます。例えば、問9, 10, 11, 12, 13の「からだを動かすこと」と組み合わせ、「できない」と回答している人は、運動機能が低下していることが分かります。認知機能が低下している人に運動機能が低下している人が多いと分かれば、運動機能の向上を図る施策を考えてはどうかということになります。</p> <p>また、問19, 20, 21, 22の「食べること」の設問では、口腔機能の低下が分かりますが、その中で認知機能が低い疑いのある方の割合が高いのか見ていき、歯の関係の施策を考えてみてはどうかなどということが見えてきます。</p> <p>よって、1つの設問だけを見るのではなく、他の設問と組み合わせることで数字から新たに見えてくるものがあります。</p> <p>地域で高齢者の方々と接していると人生100年ということに危機感を感じています。「昨日できていたことが今日できない」ということがある現状を知っておいて欲しいです。</p> <p>そういうことがあるので、社会参加の関係性から日頃の地域の交流が重要になってくると思います。</p> <p>アンケートから、社会参加をしている人はどれくらいいるのかということが分かる設問は、資料3の問42, 43, 44, 45, 46で、地域との関わりについて把握することができます。地域の支え合いの仕組みが8期では求められています。</p> <p>実際に社会との関わりが多い人ほど自立度が高いです。社会参加をすることで介護予防にもつながっています。「昨日できていたことが今日できない」ことに対応するには、地域のつながりが重要であり、つながりが強ければ支え合うことができ、健全で健康な地域であるということも言えると思います。</p>
<p>木全委員長</p> <p>事務局</p> <p>木全委員長</p> <p>事務局</p> <p>木全委員長</p> <p>杉本委員</p>	<p>4 その他</p> <p>事務局から何かありますか。</p> <p>第2回の委員会は、3月25日（水）午後2時となります。また、事前にご案内いたしますので、よろしくお願ひします。</p> <p>なるべく次回は全員出席できるようにして、より多くの意見が出る場にしたいです。</p> <p>令和2年度の日程を早めに教えていただくとスケジュールを組みやすいです。できるだけ早くお示しいただければと思いますので、よろしくお</p>

木全委員長	<p>願います。</p> <p>では、そういうことで新年度のスケジュールを早めによろしくお願います。それでは以上で、本日の『あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会』を閉会いたします。ありがとうございました。</p>
-------	--